今後の手続きについては、様式PCT/ISA/220

PCT

国際調査報告



(法第8条、法施行規則第40、41条) [PCT18条、PCT規則43、44]

出願人又は代理人

| の書類記号 SSO4003PCT | 及び下記5を参照すること。 | | | | |
|--|----------------------|-------------------------|-------------------------|----------------------------------|--|
| 国際出願番号 PCT/JP2004/006555 | 国際出願日(日.月.年) | 14. 05. 2004 | 優先日 (日.月.年) | 15. 05. 2003 | |
| 出願人 (氏名又は名称) 株式会社資金 | 上堂 | · | | | |
| | • | | | , | |
| 国際調査機関が作成したこの国際調査にこの写しは国際事務局にも送付される。 | | ⊎第41条(PCT18 | 3条)の規定に従い出 | J願人に送付する。 | |
| この国際調査報告は、全部で3 ページである。 | | | | | |
| □ この調査報告に引用された先行技術文献の写しも添付されている。 | | | | | |
| 1. 国際調査報告の基礎 a. 言語は、下記に示す場合を除く この国際調査機関に提出 | ほか、この国際! された国際出願 | 出願がされたものに [の翻訳文に基づき国 | 基づき国際調査を行っ 際調査を行った。 | った。 | |
| b この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでいる(第 I 欄参照)。 | | | | | |
| 2. □ 請求の範囲の一部の調査ができない(第Ⅱ欄参照)。 | | | | | |
| 3. ② 発明の単一性が欠如している(第Ⅲ欄参照)。 | | | | | |
| 4. 発明の名称は ※ 出願 | 人が提出したもの | のを承認する。 | | | |
| □ 次に | 示すように国際 | 調査機関が作成した。 | 5 | | |
| 5. 要約は 🔀 出願 | 人が提出したもの | のを承認する。 | | | |
| 国際 | 調査機関が作成 | | の国際調査報告の発達 | 削38.2(b)) の規定により 送の日から1カ月以内にこ | |
| 6. 図面に関して a. 要約書とともに公表される図は 第 図とする。 [] [| | :おりである。 | | | |
| | 出願人は図を示さ | さなかったので、国際 | 祭調査機関が選択した | -• | |
| | 本図は発明の特徴 | 徴を一層よく表してV | いるので、国際調査機 | !関が選択した。 | |
| b. × 要約とともに公表される図 | はない。 | | | | |
| | | • | | | |
| 1 | | | | | |

| A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC)) Int. Cl'G01N30/18, G01N3 | 30/20 | | | |
|--|---------------------------------------|--|--|--|
| B. 調査を行った分野 調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC)) Int. Cl'G01N30/18, G01N3 | 0/20 | | | |
| 最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 日本国実用新案公報 1922-1996年 日本国公開実用新案公報 1971-2004年 日本国登録実用新案公報 1994-2004年 日本国実用新案登録公報 1996-2004年 | | | | |
| 国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、 | 調査に使用した用語) | | | |
| C. 関連すると認められる文献 引用文献のカテゴリー* 引用文献名 及び一部の箇所が関連すると Y JP 11-304779 A (株式 11.05 (ファミリーなし) Y JP 01-254871 A (東ン 0.11 (ファミリーなし) | 大会社島津製作所)1999. 1-11 | | | |
| ○ C欄の続きにも文献が列挙されている。 ○ パテントファミリーに関する別紙を参照。 ○ の日の後に公表された文献 ○ 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」国際出願目前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用するもの「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発の新規性又は進歩性がないと考えられるもの「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1上の文献との、当業者にとって自明である組合せよって進歩性がないと考えられるもの「P」国際出願目前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願「&」同一パテントファミリー文献 | | | | |
| 国際調査を完了した日 03.09.2004 国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁(ISA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号 | 国際調査報告の発送日 21.9.2004 特許庁審査官 (権限のある職員) | | | |

| C(続き). | 関連すると認められる文献 | RB-4- 1 |
|-----------------|---|------------------|
| 引用文献の カテゴリー* | 引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示 | 関連する 請求の範囲の番号 |
| A | JP 8-254538 A (オリンパス光学工業株式会社) 19 96.10.01 (ファミリーなし) | 1-11 |
| A | JP 9-21730 A (オリンパス工業株式会社) 1997. 01. 21 (ファミリーなし) | 1-11 |
| | | |
| · | | |
| · | | |
| | | |
| | | - |
| | | |
| | | |
| | | |